



# KAGAWA Diversity & Inclusion

## Contents

- ◎香川大学 D&I フェスタ 2024 開催
- ◎D&I を学ぶ
- ◎女性研究者支援
- ◎女子中高生の理系進路選択支援プログラム
- ◎ワーク・ライフ・バランス支援
- ◎INFORMATION

## ごあいさつ

理事・副学長 野口 里美  
(企画・評価・ダイバーシティ担当)

平素より本学のダイバーシティ推進にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度より企画・評価・ダイバーシティ担当理事を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

本学は、2021年10月に「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進宣言」を行い、多様な背景や個性を尊重し合える学びの場づくりを目指してまいりました。基本方針やガイドラインを策定し、2025年度からは学生の通称名の使用に加え、自認する性別の使用を認める制度を導入します。これらの取り組みは、多様性を受け入れる風土を醸成し、すべての人が自己を最大限に発揮できる環境を提供するための第一歩です。

私は、D&I推進の取り組みを通じて、次のような大学を実現したいと考えています。それは、学生が周囲

の制約や不安に縛られることなく、自分のやりたいことに専念できる環境、教員が自由に創造的な教育・研究に取り組める風土、そして職員がやりがいを持って楽しく業務に向き合える職場です。この目標を達成するためには、制度改革だけでなく、私たち一人ひとりが多様性を受け入れ、対話を重ねていくことが重要です。

私たちの取り組みはまだ道半ばです。皆さまと力を合わせ、多様性が力に変わる組織づくりを進めてまいります。引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



本学の多目的トイレを「ALL GENDERTイレ」としても利用しやすいように、右のサインを多目的トイレのサインとしました。「ALL GENDERTイレ」の場所については、ユニバーサルデザインマップをご覧ください。



ユニバーサルデザインマップ  
Accessibility Map

REPORT

# 香川大学 D&I フェスタ 2024

本学が「D&I推進宣言」を行った10月を中心に、センター・関連部局と連携し、D&Iをさらに推進するため、全構成員(学生・教職員)を対象とした啓発イベント「香川大学D&Iフェスタ2024」を実施しました。



## D&I セミナー Part1

### どうしてやめられないんだろう？ ～依存症から考えるこころの健康～



野仲氏

10月9日(水)、多目的ホール(幸町北キャンパスオーリースクエア)にて、見えない生きづらさの一つである「依存症」をテーマに、保健管理センターの「ヘルストピックス講演会」も兼ねて対面形式(オンライン併用)で実施しました。

まず、上田夏生学長から開会の挨拶が述べられ、野仲和真氏(本学保健管理センター臨床心理士)から、依存症の症状やメカニズム、要因などについて、大変わかりやすく説明していただきました。

#### アンケートより

- ◎わかりやすい組み立てで、依存症のことやメカニズムがとてもよくわかった
- ◎今回の講演について心に留め、自身の偏見をなくしたいと思った

## D&I セミナー Part2

### LGBT から多様性や誰もが生きやすい社会を考える



あしたプロジェクト谷氏、福井氏(左から)

10月30日(水)、331講義室(幸町北キャンパス3号館3階)にて、「LGBTから多様性や誰もが生きやすい社会を考える」というテーマで、ゲストスピーカーとして、あしたプロジェクト代表の谷昂頼氏、副代表の福井瑞穂氏をお招きし、教育学部「人権教育」の授業を本学構成員に公開して開催しました。

お二人からは、カミングアウト、パー

トナーや家族、戸籍の性別変更など、ご自身の実体験を交えてお話いただき、その後、グループに分かれて感想を共有しました。質疑応答の時間では、普段聞きにくい質問にも丁寧に回答いただき、「SOGIに関わらず自分らしく生きることができる社会」にしていく大切さを実感したセミナーとなりました。

#### アンケートより

- ◎選択ができるようになることが大切だと思った
- ◎最近、SNSなどでも沢山話題になっているからこそ、正しい知識を身につけたい

#### D&I フェスタ 関連イベント バリアフリー支援室

### 車椅子講習会

フェスタ期間中、4回の車椅子講習会を開催し、教職員7名、学生5名が参加しました。実際に車椅子を操作することにより、小さな段差や傾斜を発見することができ、キャンパス内のバリアフリーについて改めて考える機会になりました。



## D&I ランチトーク

### 多様性を考える前に～自分を知れば、他人も見えてくる！～

10月23日(水)の昼休み、D&Iスペース(幸町北キャンパス5号館1階)で、野口里美氏(企画・評価・ダイバーシティ担当理事)が話題提供者となり、学生を対象に、サブパーソナリティランプ(SPTランプ)を使用したD&Iランチトークを実施しました。

SPTランプとは、個人の異なる側面やパーソナリティを表現するためのランプの一種です。各カードには異なる性格や特徴が描かれており、各自の性格特徴、強み、弱み、また、自己の様々な特徴、他者の特徴、他者との関係性、他者への効果的な対応方法等を簡単に知ることができます。

このイベントを通じて、学生たちは、自分を理解することで他者と関わる時に生かすことができることや、他者を知るためにはまずは自分を理解することが必要といった気づきがあり、今後もこのような取り組みを続け、多様性の理解を深めていきたいと思いをもちます。



ランチトークの様子

## D&I キャンパスプロジェクト Aster ワークショップ

### 性の多様性について知ろう～映画「カラコエの花」を通して気づくこと～

11月6日(水)、421講義室(幸町北キャンパス4号館2階)にて、1年生から4年生のD&IキャンパスプロジェクトAsterメンバーの企画・運営によるワークショップを開催しました。

前半では、映画「カラコエの花」を視聴し、後半では、映画の「感想」、「印象に残った場面」、「主人公の立場で」、「主人公以外の立場で」考えたことを各自付箋に書いた後、グループに分かれ、付箋を基に、意見交換をしました。最後は、付箋を模造紙に貼り、他グループで出された意見を共有して終了となりました。



ワークショップの様子

## D&I 書籍展示「D&Iって何?」

今年度、初めての試みとして、香川大学図書館の協力を得て、同中央館2階で10月の1か月間、D&I関連書籍の展示を実施しました。

バリアフリー支援室、インターナショナルオフィス、保健管理センター及び当室に加え、図書館スタッフからも、D&Iに興味をもち、手に取りやすい本を推薦していただき、図書館学生協働スタッフによるPOPと共に展示しました。



入口近くに展示された書籍



図書館学生協働スタッフによるPOP

D&Iフェスタ 関連イベント  
インターナショナルオフィス

## グローバル・カフェイベント

10月21日(月)にアンドレアス・イエンセン氏(オーストリア・インスブルック大学助教)による講演「ドイツにおける亡命手続きと難民の現実について」、10月31日(木)に「フィンランドの学校・教育について現地の先生から学ぼう! Schools and Education in Finland」を開催しました。



アンドレアス・イエンセン氏



フィンランドイベント

REPORT

# D&Iを学ぶ

2024年度は、学生向けの全学共通科目として「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)入門」、「多様なキャリアを考えるー男女共同参画の視点から」の2講座をダイバーシティ推進室が担当しました。また、教職員向けのD&I研修では、「アンコンシャス・バイアス」をテーマにオンラインとオンデマンドで実施しました。さらに、D&Iについて学ぶ機会を全構成員へ広く提供するため、「D&Iマスター制度」をスタートしました。



## D&I 入門 (第1クォーター 火曜1時限目)

この授業では、学内外の教員によるオムニバス形式によって、ジェンダー、障害、多文化、性の多様性、大学、企業などの幅広い視点からD&Iについて学びます。

回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/16(火)	オリエンテーション	高木由美子 黒澤あずさ	ダイバーシティ推進室室長・教育学部教授 ダイバーシティ推進室特命准教授・コーディネーター
2	4/23(火)	障害を考える	大沼泰枝先生	学生支援センター バリアフリー支援室准教授
3	4/30(火)	ユニバーサルデザインを考える	中島美登子先生	創造工学部准教授
4	5/7(火)	多文化共生を考える	植村友香子先生	インターナショナルオフィス特命准教授
5	5/14(火)	ジェンダーを考える	園部裕子先生	経済学部教授
6	5/21(火)	性の多様性を考える	葛西真記子先生	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
7	5/28(火)	見えない生きづらさを考える	長谷綾子先生	医学部臨床心理学科准教授
8	6/4(火)	ダイバーシティマネジメントを考える	吉澤康代先生	大学院地域マネジメント研究科教授

## 多様なライフ・キャリアを考えるー男女共同参画の視点から (第1クォーター 木曜5時限目)

「男女共同参画」を基軸とした価値観をキャリア・ライフデザインにどのように位置づけていくかを考えるための講義を提供します。多様な分野で活躍している主に実務家によるオムニバス形式で構成されています。

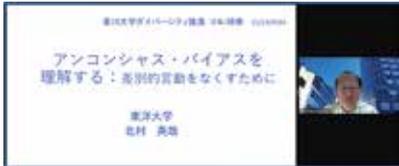
回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/11(木)	「男女共同参画推進社会」について総論 -「どんな個人も尊重して生きられる社会を目指して」	永田真一先生	外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 政務社会部専門機関班参事官
2	4/18(木)	「誰もが生き生きと働くために ~男女共同参画の視点から働き方を考える」	澤渡恭子先生	香川労働局雇用環境・均等室長
3	4/25(木)	「裁判所におけるキャリア」	多知川正人先生 嶋田敬子先生	高松地方裁判所総務課長 高松家庭裁判所主任調査官
4	5/2(木)	「ジェンダーの視点で考える『法』と『社会』」	佐藤倫子先生	香川県弁護士会
5	5/16(木)	「子育て家庭の現状と課題、必要な支援とは」	中橋恵美子先生	NPO法人わははネット理事長
6	5/23(木)	「SRHR(セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツ)を知りましょう」	塩田敦子	ダイバーシティ推進室副室長・医学部医学科教授
7	5/30(木)	「技術者を取り巻くさまざまな環境での 自分らしい働き方」	岩井綾先生	復建調査設計株式会社四国支社河川設計課係長
8	6/6(木)	「企業におけるダイバーシティについて」	杠明日美先生	アオイ電子株式会社高松本社商品開発部課長代理

## REPORT

## D&amp;I研修「アンコンシャス・バイアスを理解するー差別的言動をなくすためにー」(12月23日(月)開催)

2024年度は、誰もが安心して学べるキャンパスをめざして、「アンコンシャス・バイアスを理解するー差別的言動をなくすためにー」をテーマとして教職員を対象に研修を実施しました。

まず、高木由美子ダイバーシティ推進室長から開会の挨拶が述べられ、講師の北村英哉氏(東洋大学社会学部社会心理学教授)による講義が行われました。「アンコンシャス・バイアスとは何か」、「差別的言動を改善するための対策」などについて、具体的な事例を交えながらお話をいただきました。最後に、ダイバーシティ推進室より、「D&I推進に向けてのガイドライン」およびD&Iに関する相談窓口、今年度から開始した「D&Iマスター制度」についての情報提供がありました。



## アンケートより

- ◎リアルタイムで起こっている事案をわかりやすく説明いただき、腑に落ちた部分があった
- ◎日常で気をつけるべき点などが明らかになった

## D&amp;Iマスター制度

2024年4月からスタートした「D&Iマスター制度」は、D&Iについて学ぶ機会を広く提供するもので、誰もが活躍できるキャンパスをみなさんと作るきっかけになればと考えています。D&Iマスターを取得された方には、D&Iマスター修了証を授与し、ダイバーシティ推進室特製グッズ(エコバック等)をプレゼントします。みなさん、D&Iマスターをめざしてみませんか!



D&amp;Iマスター修了証



ダイバーシティ推進室特製グッズ

## 女性研究者支援

科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択された「四国発信! ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」は、2023年度で終了しましたが、当室では引き続き四国5国立大学等と協働し、様々な女性研究者支援を行っています。



## 香川大学女性研究者の会

部局を超えて女性研究者が交流し、女性研究者の研究教育活動環境向上のための全学横断的な支援を考える場である女性研究者の会。10月31日(木)の昼休みに、「いま必要な女性研究者支援とは」をテーマにオンラインで意見交換を行いました。

## 国際学術雑誌論文投稿費・英文校閲費補助事業

女性リーダーの育成を目的として、女性研究者が研究成果を国際的な学術論文として発表するための外国語論文投稿費用ならびに英文校閲費用を補助しています。本補助採択者の国際的な評価となる研究業績を向上させるなど、研究者としての成長とスキルアップを期待し実施するものです。2024年度は、論文投稿1件、英文校閲3件の支援をしました。

## D&amp;I 推進共同研究制度

これまでの「四国発信! ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」で培ったネットワークや研究力を継続・発展させるために、女性研究者がチャレンジし活躍する場の拡大を目的とした制度です。今年度から、共同研究の対象を四国5国立大学に国内外の大学も加えており、2024年度は、8件の支援をしました。

## 女性研究者スタートアップ研究環境整備事業

女性の若手研究者や研究リーダーの育成につなげることを目的とし、研究環境の整備に必要な経費的支援を行うものです。2024年度は10名の支援をし、その中で十川麗美特命助教(附属病院臨床遺伝ゲノム診療科)は、「第8回中国地域女性ビジネスプランコンテスト」で優秀賞を受賞され、さらに日本貿易振興機構(JETRO)「J-StarX Local to Global Success Program 2024」シリコンバレー派遣にも採択されました。

REPORT

# 香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクト

2023年度にJST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、2024年度も、香川県内外の企業や自治体と連携し、様々な事業を実施しました。その一部をご紹介します。

REPORT  
01

## 企業訪問 8.5(月) @アオイ電子(株)

最初に、人事課の山脇さんから、会社概要、半導体業界についての説明を受けました。続いて、青木人事課長の進行で、山本さん、澁谷さん、坂本さん、3名の女性技術者のキャリアトークを実施しました。中高時代のこと、理系進路を選択したきっかけ、大学での学部・学科選択と研究、現在の業務・やりがいなどについてお話をいただいた後、参加者との質疑応答が行われました。

最後に、半導体はクリーンルームの中で製造されていることからご準備いただいたスリッパに履き替え、設備開発工作室や製造工場を見学させていただきました。



REPORT  
02

## サマースクール 8.9(金) @e-とぴあ・かがわ

前半のプログラミング体験では、講師の馬場先生によるチューリングパターン(生き物の体の模様などが数式を使って説明できる考え方)についての解説から始まり、実際に「スクラッチ」というプログラミング言語を使用しながら、生き物の模様を再現していきました。

後半のキャリアトークでは、吉岡さん(創造工学部)、錦織さん、横山さん、島さん、田中さん(創発科学研究科)の5名から、中高時代の勉強や部活の話、進路選択や受験、大学での研究やプライベートライフ、将来の進路や夢についてそれぞれお話をいただきました。



REPORT  
03

## ラボ訪問 10.5(土) @四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

前半は、久保先生(同機構特命講師)から災害現場でドローンを活用している事例などを紹介していただいた後に、第2体育館内で、小型と中型の2種類のドローン操作体験をしました。その後、グラウンドに設置したネット内に移動し、久保先生が実際に大型ドローンを操縦する様子を見ながら、モニターでドローンから送られてくる映像を視聴しました。

後半のキャリアトークでは、久保先生を皮切りに、山田さん(創発科学研究科)、尾崎さん、阪村さん、神野さん(創造工学部)にお話をいただきました。



REPORT  
04

## 出前授業 12.9(月) @大野原中学校

観音寺市立大野原中学校の1年生を対象に実施しました。小宅先生(創造工学部助教)のご専門は、景観生態学であり、「どうして街の中に緑?」という問いから講義は始まりました。「草花があると気分が上がる」「季節感を味わいたい」「実は空気を綺麗にしている」と、生態系サービス(生物多様性から得られる恵み、生物やその棲家が人の暮らしにもたらしてくれる恵み)について解説してくださいました。

学生によるキャリアトークでは、安藤さん(創造工学部)から、将来の夢、中高時代のこと、香川大学で参加した学生プロジェクトに加え、進路については、迷う過程で、努力できればいいとの話がありました。



☆詳細は、特設HPをご覧ください☆



## REPORT

## ワーク・ライフ・バランス支援

REPORT  
01

## 研究補助者配置制度

研究補助者配置制度は、研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で行っている制度です。2024年度は、10名の男女研究者にご利用いただきました。

REPORT  
02入学試験における  
休日出勤時の託児

入学試験における休日出勤時の教職員の負担軽減にむけて、3ヵ月から小学校6年生までの子どもの託児を無料で実施しています。2024年度は、11月23日(土・祝)の推薦入試と1月18・19日(土・日)の大学入学共通テストの託児を設定し、延べ4人のお子さんの受け入れをしました。

REPORT  
03ベビーシッターの  
利用費補助制度

こども家庭庁(公益社団法人全国保育サービス協会に委託)が実施する「ベビーシッター派遣事業」により、「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用できる制度の他、ベビーシッター等で利用できる育児補助金制度「ベネフィット・ステーション」があります。

REPORT  
04

## 介護セミナー

2月19日(水)「介護セミナー」を415講義室(幸町キャンパス北4号館1階)にて、本学教育学部との共催で実施しました。高松市より、地域包括支援センター地域支援係 森永智光氏、ファーマシ薬局たかまつ 岡村リナ氏をお招きし、ご講演をいただきました。DVDを用いて認知症の方への望ましい対応事例を視聴した他、認知症の主な症状・それに至るまでの予防策、高松市の取り組み、受診・相談窓口などをお話いただきました。

## アンケートより

- ◎認知症は誰にでも起こりうるものであるので、対応方法について学ぶことができてよかった。介護をするとき、1人で抱え込むのではなく、様々な人や機関と協力しながら関わっていくことが大切であるとわかった。
- ◎認知症にどのような症状があるのかを詳しく知ることができて、周りの人が認知症になったときには今日学んだことをいかさうと思った。



森永氏・岡村氏(左から)

REPORT  
05香川大学  
出産・育児・介護支援ガイド

香川大学の出産・育児・介護支援制度について、わかりやすくまとめたリーフレットを作成しています。ぜひご活用ください。

REPORT  
06

## 定時にかえろう!

香川大学では、男女共同参画の基本方針に基づき、教職員が教育・研究等と育児・介護の両立を支援するため、下記の事項に配慮をしています。

1. 育児等に取り組む教職員が参加する会議は**夕方17:30以降**、できるだけ開催しないこと。
2. 育児等に取り組む教職員より申し出があった場合には、教育・研究活動以外の業務負担の軽減に努めること。
3. 育児等に取り組む教職員がやむを得ない事情により会議の欠席・早退・遅刻、業務の代替等を求める場合にはできる限りの配慮を行うこと。(授業・会議の時間帯調整、代理出席の配慮、出席を強制しないなど)

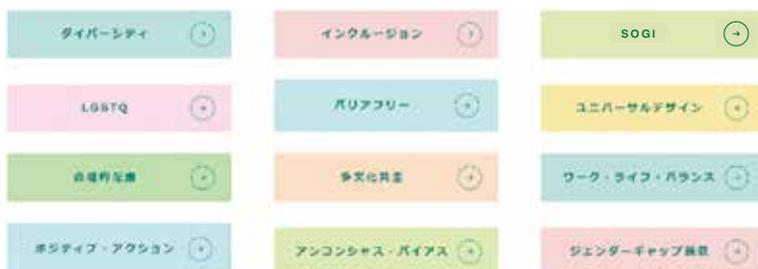
## ※ 通称名や自認する性別の使用

2025年4月より、通称名に加え戸籍とは異なる自認する性別の使用を希望する場合は、所定の手続きによって変更ができるようになりました。また、証明書等の性別の記載についても、申し出により性別を記載せずに発行できる場合もあります。各種文書において、原則として不要な性別欄を削除するよう周知を図っています。



## ※ D&I関連用語解説

D&Iに関する用語解説のページを当室のHPに設けました。D&Iについてさらに学びたい方には、D&Iマスター制度、D&I関連科目の履修を推奨します。



## ※ D&Iスペース

幸町キャンパス北5号館1階、ダイバーシティ推進室とバリアフリー支援室の間に開設しています。D&Iについてちょっと話をしたい、イベントを開きたいといったことに使えるスペースです。ここでは、D&Iに関する資料や書籍を自由にご覧いただけます。ご利用の際は、事前に当室までお問い合わせください。



## ※ 生理用品の配布

様々な理由で生理用品の入手がしづらい状況にある香川大学の女子学生を支援したいと個人の方や高松市からご寄付をいただきました。幸町キャンパス学生会館1階・北4号館の女子トイレ・ALL GENDERTイレ内に生理用品を置いてありますので、必要な方はご自由にお使いください。



## D&I 相談窓口

D&I 相談窓口は、香川大学に通う学生のみなさん、働く教職員のみなさんが利用できる窓口です。ここでは、本学の D&I に関わる制度や仕組みについてのご相談をお受けします。どこに相談したらよいかわからない場合のご相談もお受けし、“コンシェルジュ”的な役割も担います。この窓口の他に、様々な相談窓口が学内外にありますので、そちらも併せてご利用ください。



## 編集・発行



香川大学  
ダイバーシティ推進室

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1  
幸町キャンパス北5号館1階  
電話：087-832-1055（内線：1055）  
FAX：087-832-1057  
MAIL：diversity-i-h@kagawa-u.ac.jp  
URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/diversity/  
本ニュースレターおよび本学の D&I 推進についてのご意見・ご感想を当室までお寄せください。

## D&I 推進のためのご寄付のお願い

香川大学では、本学の教育研究の奨励を目的として、企業や個人等（寄附者）の方から寄附金を募りご支援をいただく制度を設けています。現物による寄附も歓迎いたします。

詳しい手続きはこちらをご覧ください。https://www.kagawa-u.ac.jp/research/industrial/contribution/